

要 望 書

下北半島縦貫道路の整備促進について

青 森 県 む つ 市
青 森 県 む つ 市 議 会

下北半島縦貫道路の整備促進について

当市の道路行政の推進につきましては、平素より特段の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、これまで未整備区間であった「野辺地～七戸」間約7キロメートルについて、今年度より「計画段階評価」を進めるための調査区間として着手していただいたことにつきまして、重ねて感謝申し上げます。

【要旨】

東北縦貫自動車道八戸線に連結し、その機能を最大限発揮する地域高規格道路「下北半島縦貫道路」の早期供用を図り、地域・拠点の連携を確保しストック効果をより高めるため、既着手区間の整備促進と未着手区間の早期事業化を要望します。

【理由】

平成27年12月に策定した「むつ市国土強靱化地域計画」において、災害時の半島孤立化を回避する唯一の事業として「下北半島縦貫道路」の早期整備を位置づけています。

「下北半島縦貫道路」は、平成7年度に整備着手し、供用済区間「野辺地バイパス」、「有戸バイパス」、「有戸北バイパス」、「吹越バイパス」が開通して25.3キロメートルの供用が図られており、沿線自治体の雇用の増加や交通事故の減少など、さらなる「ストック効果」の発現が期待されます。

現在、平成28年度に新規事業化となった「横浜北バイパス」をはじめ、既着手区間26.1キロメートルにおいて着実に事業の進

捗が図られており、未着手区間約17キロメートルのうち「野辺地～七戸」間約7キロメートルについて、今年度、事業化を検討するための「計画段階評価」に着手されております。

今後は、未着手区間である「むつ市奥内～中野沢」間約10キロメートルにつきましても、事業化に向けて大いに期待が寄せられており、これらの未着手区間を含む全線が開通し、「下北半島縦貫道路」として供用されることにより、救急医療ネットワークの向上や優れた地域産品の流通拡大が図られるなど、地域高規格道路としての真価が発揮されるものであります。

災害に強く、安全で安心な暮らしと、人口減少の克服や地方創生を実現する下北半島地域をつくり、さらには国土の強靱化を図るためには「下北半島縦貫道路」全線の早期整備が不可欠です。

つきましては、公共事業関係費の大幅な増額と長期的・安定的な予算の確保、及び「防災・減災・国土強靱化のための3ヵ年緊急対策」完了後も継続して「むつ市国道強靱化地域計画」に基づく対策を推進するためにも、臨時・特別の措置に替わる新たな財政措置を図るとともに、『いのちの道』であり、下北半島地域の物流・人流を支える下北半島縦貫道路について、重要物流道路に指定した上で機能強化、重点支援を図り、既着手区間26.1キロメートルの整備促進と未着手区間約17キロメートルの早期事業化について、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 月 日

む つ 市 長 宮 下 宗 一 郎

むつ市議会議長 白 井 二 郎



新函館北斗駅
大沼駅
函館市
函館駅
五稜郭駅
渡島半島
汐首岬

大間崎
大間町
津軽海峡
大間原発
風間浦村
海洋地球研究船「みらい」母港 関根浜港
大畑
大湊港
東通村
尻屋崎
佐井村
下北半島国定公園
恐山
むつ市
大湊港
陸奥湾
横浜町
六ヶ所村
六ヶ所サイクル
むつ小川原港
小川原開発
青森港
野辺地町
東北町
七戸町
三沢空港

むつ南PA L 8.7 km
未着手区間 約 10 km
横浜北PA L 10.4 km
横浜南PA L 7.0 km
吹越PA L 5.8 km
青北PA L 6.3 km
青南PA L 6.3 km
野辺地PA L 6.9 km
未着手区間 約 7 km

国道279号国直轄要望路線

東北縦貫自動車道八戸線
みちのく有料道路
東北新幹線